



永平寺町

議会だより

第44号

平成28年10月21日発行



わんぱう団体

東古市うらら会

(※ 最終ページに紹介記事)



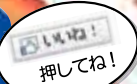
東古市ふるさと学級

2 議会と語らう会 テーマ

7 そこが聞きたい! 議員15人が一般質問

17 答えてみよう! 町議会クイズ

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

自主防災の充実を目指して

8地域自主防災組織連絡協議会の会長・副会長を対象に、下記のことなど、色々な課題や問題点について語り合いたいと思います。

- ①行政が進める実践的な訓練の現状は
- ②町内90地区の各リーダーの育成は
- ③連絡協議会から各地区自主防災組織への連絡体制は

その他

- ・各地域の災害時要援護者の把握とその対応
- ・各地域の避難場所の確認
- ・各地域の災害情報収集の対応
- ・各地域の資機材の確保

その他、多種多様な地域の課題について、各会長・副会長と議会とが語り、行政に提案！住民一人ひとりが考え行動する「我がまち防災づくり」について、自由に意見を交換し反映しましょう！

【総務常任委員会】

中村 勘太郎・江守 勲・川崎 直文・伊藤 博夫・奥野 正司・齋藤 則男

自由なご意見、お聞かせください

議会と語り合

今回の議会と語ろう会は、各常任委員会でテーマを設け、町内の各種団体との専門的な意見交換を通し、新たな行政提言につなげることを目的として開催したいと思います。

これからも議会は、町民の声を町民目線で情報収集し、町民とともに歩んでいきますので、ご支援よろしくをお願いします。

10月 **28日** (金) **自主防災の充実を目指して**
 午後7:00~ 会場: 永平寺開発センター 2階消防ホール with 自主防災組織連絡協議会

10月 **31日** (月) **農業の将来施策を考える**
 午後7:30~ 会場: 永平寺支所 2階研修室 with 認定農業者

11月 **1日** (火) **高齢者が安心して暮らせるまちづくり**
 午後7:00~ 会場: やすらぎの郷 ふれあいホール with 社会福祉協議会

どなたでも参加できます。お気軽にご来場ください。

高齢者が安心して暮らせる

教育民生常任委員会では、今年度2つのテーマについて調査研究しています。その1つ “高齢者が安心して暮らせるまちづくり” では、9月1日、行政から介護予防・日常生活支援総合事業の概要についてを勉強しました。

今回の語ろう会では、社会福祉協議会のみなさんと “高齢者が安心して暮らせるまちづくり” をテーマに、

まちづくり

意見交換したいと思います。①要支援1~2の介護予防・日常生活支援事業を行政に移行すること、②地域包括支援システムの確立、③認知症の見守り状況などを話し合います。

【教育民生常任委員会】 滝波 登喜男・金元 直栄・酒井 要・小畑 博・上田 誠・長岡 千恵子

農業の将来施策を考える

平成34年には、昭和45年から続いてきた政府による米の減反政策が廃止され、米の直接支払交付金も廃止となります。

毎年のように変わる農業政策も、30年からは米生産農家が新たな生産調整に取り組むこととなり、大きな転機が迫っています。

そのような中、認定農業組織・認定農業者の方々と農業の将来施策を考えようと、

- ①担い手育成
- ②農家の所得向上

について話し合います。

【産業建設常任委員会】

朝井 征一郎・川治 孝行・上坂 久則・長谷川 治人・樂間 薫・多田 憲治



9月23日、委員16名出席のもと、委員会を開催しました。

①第3次行財政改革大綱の実施計画進捗管理について

第3次行財政改革では、平成28年度～32年度の5年間、歳出削減目標3億円と定め、計画的に取り組みを実施します。具体的には、44の主要取り組み事項について、到達目標を定め、それに向けて毎年取り組んでいくものです。今回説明を受けた実施計画進捗管理とは、各年の取り組み計画を具体的に表したものです。

委員からは、5年間で3億円の目標を掲げたのだから、数値にこだわって進捗管理をしてほしい。との意見が出されました。

②「委員会構成」について

次の改選後は、14名の議員で活動することが決まったことを受け、常任委員会の数やあり方を検討することになりました。具体的には、

- (1) 現在の3委員会のまま、1議員が複数の委員会に所属する。
- (2) 3委員会を2委員会に統合する。
- (3) 委員会をなくし、本会議主義にする。
- (4) 調査研究（政策提言）するための仕組みをつくる。

の4つについて、先進議会を視察し、協議を重ねていくことになりました。

主な質疑応答

平成28年度 一般会計補正予算

◆総務課

問 戸別受信機の補助率は。また防災電子メールは誰に送るのか、IP電話予算は当初予算で計上できたのではないのか。

答 受信機の種類により金額は変わるが補助率は二分の一を予定している。防災メールは各地域の防災責任者に送信する。また電話故障等により当初では把握できなかったため。

問 庁舎内の待合スペースは何処に設置するのか。また備品は高価な物ではないのか。

答 本庁舎正面に設置する。常識の範囲内で見積か、入札を行う。テレビは異常気象時および町内のイベントをケーブルテレビで放映し住民にPRする。

◆総合政策課

問 上志比地区での宅地開発費は事前に図面、面積、戸数、買収単価、地権者名等、概要説明を議会に報告すべきであった。突然の予算計上はおかしい。また他の地域での宅地開発計画はないのか。

答 平面図で位置、面積は3460・2㎡で戸数は8戸～10戸程度。地権者と協議中の

◆福祉保健課

問 バイオマスボイラーは必要か。今後の修理費や燃料費が高額とならないのか。また、今後、安定した供給量は確保されるのか。

答 供給量は森林組合が取り組んでおり、廃材は一般廃棄物として処理でき、今後のメンテナンス料は安く、燃料費についても安くなる。災害時や緊急時に利用できる。今までのメンテナンス料は81万5千円で新ボイラーは50万円となり減額となる。

◆子育て支援課

問 ノロウイルスの検査で、調理員のほかに園長も含まれている理由は。

答 調理員が休んだ場合、園長が対応するため。

◆商工観光課

問 中部縦貫自動車道開通キャンペーンの内容は。またインバウンド中期計画は地方創生の認定で事業が決定するのか。

答 開通キャンペーンは3月1日～8月31日まで。今年度は大野市で、来年度は永平寺町と勝山市で開催する。また越前加賀インバウンド推進機構の中期計画は、町職員が係わり事業計画を策定し申請する。

平成28年第6回永平寺町議会定例会は、8月29日から9月14日まで17日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町人権擁護委員候補者として、永平寺町浅見 酒井壽一氏の推薦を適任としました。

第6回定例会議案

諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	適任
報告第2号	平成27年度財政健全化判断比率等の報告	可決
議案第45号	平成28年度一般会計補正予算	可決
議案第46号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決
議案第47号	平成28年度介護保険特別会計補正予算	可決
議案第48号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算	可決
議案第49号	魅力発信交流施設い坊館の設置及び管理に関する条例の制定	可決
議案第50号	町道の認定	可決
陳情第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書	採択
発議第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決

予算決算常任委員会審査報告



当委員会に付託された議案第45号「一般会計補正予算」から第48号「下水道事業特別会計補正予算」までの4件について9月8日に審議した。一般会計では宅地開発測量設計委託料について自由討議の要求があり、その結果今後工程管理について、内容説明を求めることにより全員賛成で可決、他議案についても全員賛成にて可決した。主な質疑応答は下記のとおりです。

【主な項目】



9月定例会 一般質問

問&答

そこが聞きたい!

15名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 川治 孝行 … ⑦ 江守 勲 … ⑫
- 上坂 久則 … ⑧ 伊藤 博夫 … ⑬
- 長岡千恵子 … ⑧ 上田 誠 … ⑭
- 小畑 博 … ⑨ 奥野 正司 … ⑭
- 朝井征一郎 … ⑩ 金元 直栄 … ⑮
- 中村勘太郎 … ⑩ 樂間 薫 … ⑯
- 多田 憲治 … ⑪ 滝波登喜男 … ⑯
- 川崎 直文 … ⑫



川治 孝行 議員

問 地籍調査の成果は

答 今後も地籍調査の推進に努める

問 発注から登記終了までの工程管理と調査の中間確認と完了検査および年度別の支払内容、この調査が町づくりに役立つ事例は。

答 発注から登記終了までの工程管理と調査の中間確認と完了検査および年度別の支払内容、この調査が町づくりに役立つ事例は。

問 調査の結果と調査前の違いは。

答 調査の結果は、境界確認作業、面積計算後地籍図地籍簿の作成をす

【その他の質問】
「ラジオ体操の取り組みについて」



問 今後の地籍調査計画と補助率は。

答 今後の地籍調査計画と補助率は、H31年までの第6次10ヶ年計画の寺本区は現在調査中である。

永平寺町魅力発信交流施設設置および管理に関する条例制定成る

総務常任委員会 委員長 中村勘太郎

本委員会は9月9日に全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会に提案付託された案件について慎重に審議した。

永平寺町魅力発信交流施設設置および管理に関する条例の制定について

本条例の制定は、松岡神明3丁目に建設中で、6月に皆様から名称を募集し「永平寺町魅力発信交流施設」に決定した。平成29年4月のオープンに向け整備中である。

これに伴い、本町において公共施設「永平寺町魅力発信交流施設」の設置及び管理に関する条例の制定をし、施設利用及び事業目的や管理運営等を定め、町民に愛され親しまれる施設の利用目的を明確にするための条例制定である。

《主な意見》
①使用料精算の根拠については、町の公共施設使用料金を考慮し、時間当たりの単価を定めたことや、駐車場スペースをイベント等で利用されるときは、

無料であることを確認する。
②利用時間の設定で、午後9時までとなっているが近所周辺の配慮については、防音を施工工事となっている。また今後、詳細な利用等については規則等を受け、町民の方々が利用しやすいように定めることを確認。
③指定管理の設置設定については、当面は直営で実施し、その施設の運営等を勘案し3～4年を目途に見直すことを確認。

……採決の結果、
委員会全員賛成により可決
陳情第2号
地方財政の充実・強化を求める意見書の採択について

本年度の政府予算、地方財政の検討に当たって、歳入歳出の確に見積もり、社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すため、政府に求める意見書の陳情となっているため、総務常任委員会において採択した。
……委員会全員賛成により採択

公民館の運営と住民のつながり

教育民生常任委員会 委員長 滝波登喜男

9月9日、5名の委員出席のもと委員会を開催した。協議事項及び内容については、次の通り。

①公民館の運営と住民のつながり
公民館は、運営審議会において毎年度の事業計画が決まり、各種講座や住民と連携した行事を行っている。ある地区運営委員会では、住民もつとつながらるために、積極的に活動している。と報告を受け、委員からは、自主防災組織や文化活動組織などを「つながる役」を担ってほしい。と意見が出

た。
②敬老会の会場変更について
今年の敬老会は、会場をサンサンホールとした。その理由は、体育館は空調設備がなく下足交換も必要だったからで、委員からは毎年楽しみにしている方が多いので、足が遠のくことのないよう努めてほしいと意見が出た。
その他、幼稚園幼児園の施設長期保全計画、職員採用について、意見が交わされた。

町道認定を

(九頭竜川中部漁業協同組合、種苗中間育成施設前の道路について)

産業建設常任委員会 委員長 朝井征一郎

本委員会は9月12日に全委員出席のもと開催し、本定例議会での付託議案を慎重に審議した。

(付託議案)
議案第51号 町道の認定について
永平寺町飯島区域内、町道飯島5号線・起点、永平寺町飯島6字19の1番地～終点、永平寺町飯島6字26番地：延長240m幅員6m
また、永平寺町と地元関係者との町

道認定書・永平寺町と九頭竜川中部漁業協同組合との確約書を取り交わされている。
運営、管理に伴う地元地域の要望については、中部漁業協同組合との覚書同意を取り交わしており、地元住民の安全・管理に努める。
……採決結果、委員会全員賛成により可決



上坂 久則 議員

問 セクト主義になっていないか業務遂行

答 問題解決のため全員で協議している

問 解決すべき問題を先送りしていないか。

町長 チェック体制強化プロ意識の高度化、チーム永平寺町役場として行政運営に務めている。

問 町長在2年半経過したが、職員の業務遂行のマイノリティ変化(向上)はあるのか。情報開示の透明性は。

町長 議会には全部出ず姿勢にて務めている。指摘事項等には、職員に對

スピード感と情熱にて取り組むよう指示している。マイノリティ変化として、職員からの積極的行動と提案活動を実感している。

問 御陵地区の上水道ポンプの故障で町民への迷惑はなかったのか。なぜ公表しない。

上下水道課長 原因はインバータポンプの故障である。

問 水道水の安全確保に塩素を増量した等は。

上下水道課長 水質検査は異常なしである。

問 町民への説明は。上下水道課長 学園地区から3件の問合せがあり、現地にて説明した。

問 ノロウイルス等対策 各施設は万全か

答 対策向上に全力

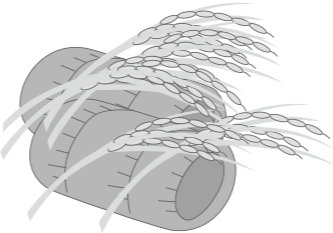
問 幼児園・幼稚園の現状対策、児童クラブ対策は。

子育て支援課長 流行時期前に保護者に対し、お便りや送迎時において注

意喚起を行う。また、感染症対策の家庭版を作成し配布する。園においては、看護師巡回で実技にの対処方法を指導。職員によるノロウイルス検

査の実施。児童クラブの指導員にも、保健師による対処方法・対策への指導を実施する。学校教育課長 学校給食衛生管理マニュアルにて対応する。家庭への対応として、対策への情報提供を早急に実施する。

【その他の質問】「要支援1・2統一サービス(国)が変更になるが、町の福祉政策をどのようにするか」



行。運行経路を1・3便は現行のまま、2・4・5便は逆回りにすると、買い物にも利用しやすいのでは。また、御陵コースは一日3便運行しているが、大病院の受診受付時間に間に合わないのが変更できないのか。



コミュニティバス

問 英語のリスニングの強化を

答 子ども達からの声が望ましい



長岡千恵子 議員

問 中学生海外派遣事業の渡航先がアメリカシアトルに変更になった。出発前における程度英会話に親しむ訓練が必要。英会話力をアップするには、

日常的に英会話のある環境にすることが大切と考える。言葉は大きくなってからマスターするのは難しい。小さい時から親しむことが大切と考える。

教育長 小学校から英語教育を実施している。中学校の英語指導については、ALTと生の会話の時間が多。ペア学習や班別学習で話す時間も増

加。基本的にオールイングリッシュで進めている。

子育て支援課長 幼児園の英語教育について、本年度からモデル園2園で福井大学の先生および学生が来園して、園児が保育中に英語と触れ合うことを目的に実施。先生の中には外国人も含んでいる。実施時期は12月から1月を予定している。

問 小中学校の休憩時間あるいは幼児園で遊んでいる中で校内放送でスピードラニングを利用しているか。

教育長 給食の時間や放課後に音楽やニュースを流している。子ども達から英会話も流そうという声が出てくる。子ども達から英会話も流そうという声が出てくる。子ども達から英会話も流そうという声が出てくる。

問 コミュニティバスの経路と時刻の変更を

答 不具合や利便性は会議で協議

問 コミュニティバスの 松岡コースは一日5便運

総務課長 町全体を網羅しているという観点からダイヤを決定。

町長 不具合や利便性については地域公共交通会議にかけて協議する。

学校教育課長 人口減少の中、部活の立ち上げに。は、その必要性や地域や学校内での協議が必要になる。

問 2年後の新たな米生産調整は

答 米以外の園芸作物への転換も必要

問 2年後には国による減反政策が廃止になる。それにより米の直接支払交付金の一反当たり7500円が廃止される。昭和45年から続いてきた米生産調整が国から生産者団体・集荷団体などが需要・供給のバランスを取り、農家の生産を図ることになる。農家にとっては大変不安に駆られるが、これからの本町の米農業施策はどうなっていくのか。

農林課長 生産者の判断。断で生産量を調整するようになることで、需要よりも多くの米が作られると考える。それは米の価格の下落を招くようになり、生産者農家の農業離れがより一層進むことを一番懸念している。そうした中、米以外の園芸作物への転換も一つの方策と考えるが、安心・安全・おいしい米づくりと高付加価値な米づくりで、JAや関係機関と連携して対応していきたい。

問 2年後に迫った国体

答 関係部署と連携して整備を進める



小畑 傳 議員

問 H29年4月には中部縦貫道が大野市まで全線開通し、朝夕の混雑が心配される。国体開催時には、競技会場である北電体育館・松岡中学校体育館・ふれあいセンター体育館・ゆめパークの中心が越坂トンネル付近となり、交通量増が見込まれるが、大会運営の対応は。

建設課長 中部縦貫道が完成することで一時的に交通量は増えるが、すでに供用されている県道枋神谷鳴鹿森田線等により大きな変化はないと考える。また、県道京善原目線の拡幅工事が完成すればさらに改善されるものと思う。

問 現在、町内3中学校の部活にはハンドボール部はなく、全く低調である。最近、松岡小学校に北電ジュニアチームに参加し全国制覇した児童がいると聞き、本町にもよやくハンドボール競技が芽生えたと思う。国体開催を契機に、ハンドボール部を創設してはと思



小学生のハンドボール競技

板の設置など、実行委員会の輸送交通部署と十分に協議して対応したい。

問 2年後には国による減反政策が廃止になる。それにより米の直接支払交付金の一反当たり7500円が廃止される。昭和45年から続いてきた米生産調整が国から生産者団体・集荷団体などが需要・供給のバランスを取り、農家の生産を図ることになる。農家にとっては大変不安に駆られるが、これからの本町の米農業施策はどうなっていくのか。

問 新農業体制に対応する施策は

答 農業が持続できる支援を



多田 憲治 議員

問 一次産業である米の生産に大きな空洞化の到来を目前に、来年度から生産調整廃止に伴い本町の農業育成を真剣に考えなければならぬ。

現在、本町の営農組織・認定農業者等の耕作割合は、

農林課長 町全体の耕作面積は931ha。集落営農組織は20団体で耕作面積は393ha。認定農業者は21人で130ha。計523haで

耕作割合は56%。

問 農業の後継者不足等、先行きの見えない国の農業施策の中で、転作に対する町独自の助成も今日まで進めて来たが、今後どのような農家との連携で農業を育成していくのか。



稲刈り作業風景

農林課長 国県から明確な方針が出されていないが、農業政策がどのような方向でも農業が持続できる支援を考えていく。

問 近年個人営農から営

答 本町の消防団員数は適正かまた、本町ならではの課題はないのか。

消防長 本町の基本団員は236名、機能別消防団員38名で41名の減。課題は団員の高齢化、女性消防団員数の少数。

問 募集策も含め消防団員育成に団員へ一昨年から実施している町活性化策でもある商工会の、えい坊くんポイントカードに便乗した優遇策を検討できないか。

消防長 持続的な予算問題と他の活動している団体との公平性もあり、公費で取り組むことは困難。

問 消防団員育成の支援策を

答 本町の「防災士」育成は、社会全体の防災力が高まり安全な減災町づくりにつながる。本町の企業や各種団体に対し幅広く増強する考えは。

農林課長 意欲ある農業者を育成支援するためにも従来どおり、町独自の補助は継続し、地域全体で農業が持続できる支援策を考えていきたい。

問 子どもの伸ばし方について

答 夢や希望をもち思いやり感謝の心を



朝井 征一郎 議員

問 本町においての「礼の心」である校門での一礼、無言の給食と清掃の実施。 「礼の心」は自己を見つめ、律する心を育む教育であり、多くのおかけを思い感謝し、あらゆる道徳の基本と教えられている。子ども自らが考え「共に学ぶ時間」日々の授業で思考力、判断力・表現力を高め、子どもも自主的に主体性を持って勉強に取り組み、しっかりとした人間性を育てることが重要である。考える力や生きる力が必要であり、積極的に人生に向かいあい、夢に取り組みむために課題に向かつていく知的好奇心や向上心も必要。個性



校門で一礼する生徒

を尊重することで、子どもたちひとりひとりが「認められている」という気持ちになり、自信が芽生え、それがやる気になる。地域と学校・家庭の三者が同じ価値観で教育に携わって、他者を思いやり、個性を認め合うということだろう。そのため新指導要領では、何を学ぶかに加えて、何が出来るようになるのかという成果主義の考え方はどのよう教育方針で取り組んでいるのか。

教育長 本町では、平成28年度の学校教育方針の中で、ふるさと永平寺町

問 防災人(ひと)づくり

答 行動できる災害に強い町を目指す



中村 勤太郎 議員

問 本町は、多種多様な戦略で防災力の強化に対して、全国でもトップクラスだと思いが、行政はどのような位置付けか。

総務課長 そのような町にしていかねければと感じ、防災に「早すぎる、やりすぎることはない」を合言葉で取り組む。

問 町民が災害情報を得る手段のひとつである戸別受信機の設置に対する補助事業の内容は。

総務課長 平成29年度からの予定で、各戸に設置するアンテナの種類が3



まちの防災 DVD

町長 「防災士」も中学生3年生から取得でき、親子で資格を取って頂きたい。有事の避難所では子供たち及び女性ならではの視点で避難所が明るく和むので、ぜひともお願いしたい。

総務課長 地域のコミュニティを高めるには、社会奉仕や、運動会、祭礼等、地域に密着した行事

問 今風化している「向こう3軒両隣」今は皆無に等しい。

答 このような現状が有事の迅速な対応の不備につながると思う。この実態を捉えどのような施策を考えるか。

総務課長 各協議会リーダーを中心に、定例会を開催、初動活動から避難所運営までの合同連携が実施できるよう、各協議会単位での有事対応を目標としている。

問 自主防災組織連絡協議会の育成強化に取り組みたい手応えは。

総務課長 各協議会リーダーを中心に、定例会を開催、初動活動から避難所運営までの合同連携が実施できるよう、各協議会単位での有事対応を目標としている。

パターン考えられ費用も変わる。上限を定め2分の1を補助する予定。



川崎 直文 議員

問 永平寺口駅周辺整備の課題と対応

答 乗降客数が目標未達、利便向上へ

問 永平寺口駅周辺整備（平成23～25年度、一部、26年度に完了）での永平寺口駅の乗降客数の目標は1日5500人である。平成27年度の実績とこれからの取り組みは。

総合政策課長 平成27年度の実績は、1日441人で目標値の達成には至っていない。今後、利用者への利便向上のため、京福バスや、えちぜん鉄道と協議する。

町長 観光に力を入れていく中で、えちぜん鉄道と観光客を結びつけて、電車で訪れてもらう。また、永平寺口駅でのイベ



永平寺口駅

ントで駅の魅力を伝える。問、駅の乗降客数の増加以外の課題は。

総合政策課長 永平寺口駅前の西線の一部道路が未整備となっている。早期の整備に取り組んでいる。

建設課長 中部縦貫自動車道永平寺インターと永平寺口駅周辺を結ぶアクセス道路を計画している。地元のご理解とご協力をお願いしながら、事業化に向けていく。

問 公共施設等総合管理計画の推進は

答 総務、財政課が主導、各課が連携

問 今年度に策定される公共施設等総合管理計

画で対象となる公共施設は。 **総務課長** 公共施設等総合管理計画は長期的視点で公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減、平準化する。公共施設等の全体を把握する。公共団体が所

有する建築物、道路、橋梁、インフラ施設や公営企業の施設も対象としている。 **問** 公共施設等総合管理計画を来年度から実行する。具体的にどのような組織で推進するのか。 **町長** 取りまとめは総務課、財政課で、各所管課

が自分たちが担当している公共施設・インフラのあり方、将来のビジョンをしっかりと持って実行していく。

問 新教育制度から1.5年が過ぎて

答 緊急の場合の措置の明確化



伊藤 博夫 議員

問 改正前は、教育行政については教育長任せ、現場任せで教育が停滞してきたとも言われてきた。改正後、町長が自治体の教育のあり方の責任者となった現在、教育行政のあり方、町の方向性は。 **教育長** 本町はまだ教育委員長と教育長との二本立てで、最高責任者は町長となり、軽重に差はあれ教育委員長を含め教育委員会としても責任を

しっかりと受け止めている。町長の権限は強まったが、深いご理解とご指導をいただき、適切な教育行政が行われている。また、重要な課題については町長を含め総合教育会議等を活用している。

問 町長は総合教育会議において教育委員と協議し基本的な方針を参酌して、大綱の策定、教育条件の整備等、重点的に講ずるべき措置等、本町の

教育に関する大綱は策定されているのか。 **学校教育課長** 昨年4月に開催された総合教育会議において、本町の総合振興計画における教育部門の規定に基づき、教育に係る大綱案を示している。

問 現在、児童生徒数の減少に伴い学校では適正な集団規模を確保することが困難になった市町がある。児童生徒のよりよい教育を指標として、小中学校の等の適正規模化を10年先の振興基本計画や5年先の基本計画に年次目標として取り組んでいる。永平寺町の平成29年度から始まる総合振興計画をどのように考えているのか。



教育の振興に関する大綱

問 18歳選挙権の課題と取り組みは

答 周知の継続などしっかり対応する

問 18歳選挙権が施行され、永平寺町で初めてとなる参議院選挙が行われたが、有権者数、投票者数、投票率はどうだったのか。 **総務課長** 参議院選挙における永平寺町の有権者は、18歳が176人、19歳が219人。投票者は、18歳が84人、19歳が80人。投票率は、18歳が47.73%、19歳が36.53%だった。

問 福井市では、シヨッピングセンターや大学などに期日前投票所を設置したが、本町で取り組む考えはあるか。 **総務課長** 町内のシヨッピングセンターと期日前投票所が近く、大学では学生の在割合が福井市と比べ低いことや、増



18歳選挙権啓発活動



江守 勳 議員

設した場合の人員確保が非常に難しいなどの観点から今回は見送った。 **問** 永平寺町独自の取り組みとして、小・中学校の社会科の授業や社会学の一環として議会見学や傍聴を取り入れてはどうか。 **学校教育課長** 今後、議会と議会事務局の協力を得ながら議会見学などを各校で検討してもらえよう積極的に申し入れたい。

町長 議会傍聴や子ども議会など、議会で企画、提案していただければ、教育委員会と協力し、子ども達に町政や国政など、どう関心を持ってもらうかにつなげていく。

問 職員間の情報の共有化は

答 情報共有や意思統一を図っている

問 1人で研修や講習を受けた後、他の職員との内容の情報共有や、各課横断の取り組みなどで情報の共有化はできているのか。 **総務課長** 研修会や説明会に出席後、復命書に概要を記載し資料の供覧を可能にし、課長会、庁内ネットワーク、課内会議

などにより情報の共有化をしている。 **問** 情報の共有化の課題や今後の取り組みは。 **町長** 課題もあるが、苦情や指摘を改善し、繰り返し返さぬよう取組み、横断連携は課長が職員にしっかりと伝え、課同士の連携につなげたい。



上田 誠 議員

問 テレビ視聴料金が高くなる

答 当面は月額1400円のままで

問 平成30年4月の移譲で①視聴料金が変わる②何台でも統一料金から1台毎の料金③スカパー等単独契約からセット料金制④Comichの1本化で永平寺町の放送がなくなる⑤行政chは残すのか⑥インターネットは。
答 平成30年4月の移譲で①視聴料金が変わる②何台でも統一料金から1台毎の料金③スカパー等単独契約からセット料金制④Comichの1本化で永平寺町の放送がなくなる⑤行政chは残すのか⑥インターネットは。
町長 更新費、運営費などを鑑み検討している視聴料金等、当初の目的に沿って交渉しているため、ご理解を願う。

は①当面月額1400円②今のところ現状で③1〜2年後に統一④なくなりますが減る⑤残すが費用が発生⑥相手に統一する。
問 98%以上が加入。当初の目的から公共、公益があり契約しないとTVが見れない状況。今までの資産や効率だけの問題でない。

問 小学校に英語の教科授業

答 2020年からスタート

問 次期学習指導要領では国際社会に対応すべく確かな学力が求められる。小学校に教科としての英語が導入されるが課題があるのでは。
答 2020年からスタート。従来に加え社会に出て生涯に繋がる教育を身につける目的が改定の趣旨。
問 英語の教科で格差の要因にもなる。教員の負担の課題など、学校現場重視の解決策が必要。方針は。
答 週2時間、年70時間必要。外部指導員配置や授業の2名体制などで対応。

問 熊本地震に学ぶ本町の地震防災

答 木造住宅耐震化率90%を目指す



奥野 正司 議員

問 本町現状の耐震診断・耐震プラン、耐震改修工事の補助額は？
答 耐震診断・耐震プラン各5万円、計10万円に補助額9万円。耐震改修工事費の23%、最大80万円限度。古民家は最大150万円補助。
問 国の耐震改修率95%へ向け30万円補助上乘せは本町も対象か。
答 国の耐震改修建設課長 国の耐震改修補助上乘せは、耐震改修率向上に積極的な自治体を応援するもの。本町も目標耐震化率達成に向けて積極的に取組中、補助上乘せに該当すると考えらる。

問 医学部前スーパーは農地法抵触か

答 スーパーの農転申請は適法

問 教育・学術研究機関集積と中部縦貫道と北陸道の結節点の位置エネルギー。この2つの可能性を持続可能な本町の好循環に繋げる福大医学部前スーパー出店と北イン進捗は。
答 ターから416への道路について問う。スーパー立地の農転申請は農地法上の許可基準に抵触するのかが北インターから416への都市計画道路の進捗は。

問 認知症高齢者の権利を守るには

答 成年後見制度の促進と充実で

問 認知症高齢者の増加に伴い、この制度の重要性がある。制度利用支援や後見人の育成も必要。これからの支援システム構築は。
答 認知症高齢者の増加に伴い、この制度の重要性がある。制度利用支援や後見人の育成も必要。これからの支援システム構築は。
福祉保健課長 現在制度の利用は予算化して対応。地域包括支援センター、福祉保健課、専門員等で地域ケア会議を中心に連携している。

問 路上マークで安全通学路へ

答 現状を見て検討

問 通学路の安全確保と注意喚起の目的で路上にマーク表示を。
答 現状を見て検討
学校教育課長 通学の安全確保は万全を期しているが、現状を見て対応する。



蓮茹直弟慶信開山桶爪東珍寺

問 政治倫理条例と議会行政の立場

答 職員採用は能力を第一に

問 本条例は、議員等の兼業禁止が厳しく問われ、さらに議員が公共事業に関わることを禁じている。
答 旧松岡町の特徴からくわえられたのが、議員は職員の採用にはかわらないこと。その対象を三役まで含めたのは、情業禁止が厳しいものにならないこと。その対象を三役まで含めたのは、情業禁止が厳しいものにならないこと。その対象を三役まで含めたのは、情業禁止が厳しいものにならないこと。
問 国基準に準ずるが温かい支援に
答 来年4月より町で実施する要支援1・2への総合支援事業。高齢者が地域で安心して暮らしている町独自の取り組みは

問 介護総合支援事業の方向性は

答 国基準に準ずるが温かい支援に

問 来年4月より町で実施する要支援1・2への総合支援事業。高齢者が地域で安心して暮らしている町独自の取り組みは
答 来年4月より町で実施する要支援1・2への総合支援事業。高齢者が地域で安心して暮らしている町独自の取り組みは
福祉保健課長 国基準に準じたサービスと、生活支援分の基準を緩和したサービスがメインになる

問 御陵地区へのハニー出店の根拠は

答 学生らの買い物環境の整備へ



金元 直栄 議員

問 農産物直売所れんげの里の近くへ、スーパーマーケットの出店計画を町と一緒に進めるのは反対だ。
答 県立大学生への本町に対するアンケートで大学周辺に買い物のできる環境のなさが不人気だとされている。以前Aコープが撤退した原因の分析はしているのか。出店で、旧町内のスーパーに影響があったらどうするのか。
総合政策課長 町総合戦略策定時に県大生へのアンケートを実施した結果、800人中494人の回答で、町内に住んでいる人は33%。内、今後住み続けたい人と住みたくないはほぼ半々。住みたくなくない人の理由に、買い物、交通が不便、ネット環境が整っていないが主な理由だ。Aコープの撤退については分析していない。



樂間 薫 議員

問 観光誘客の準備と対策は

答 それぞれの施策ただ今進行中



永平寺川

問 我が町の観光は、強い永平寺町づくりの大きな一本の柱と思うが、まず、門前のまちなみ整備の現況は。

商工観光課長 この秋から本格的な工事を行っていく。工事に当たっては、区をはじめ区民の皆様や門前観光協会と連携を密にし、また、県、大本山、町の三者会議を定期的に開催しながら進めている。三者の担当である永平寺川の整備工事、

問 ブランド戦略推進委員会の経過と現況は。

商工観光課長 今年7月赤坂アーケヒルズのマルシェに出店し、町のブランドである農産物や、加工品の販売のほか、大籠流しなどのPRを行っており、生産者や事業者の皆さんが直接都会の皆さんとのやりとりを通して感じたことを生かすことを目的に行った。アンケートも実施し、今後につなげていく。また、

旧参道等の整備（無電柱化を含む）工事は、平成30年度、本山の宿坊については翌31年で完了予定である。昨年門前まちづくり協議会が開催され、将来に向けた協議もなされていると承っている。

問 優秀な人材を確保するには

答 試験にグループディスカッションを採用



滝波登喜男 議員

問 29年度職員採用を14名も募集する。中でも建築や福祉など、5分野で専門職を求めているが、その理由、募集方法、経験や実績の評価をどう工夫するのか。優秀な人材を確保するには、積極的に情報を求める必要がある。

町長 国体プレ大会が来年に迫り、しっかり運営するために即戦力の職員を採用する。資格や実績もじっくり見ていく。

総務課長 広報やハローワークにも積極的に依頼し、I・U・Jターナーや障がい者など、広く人材を求める。試験方法は、グループディスカッションを採用したい。

問 経験豊富で業務を熟知した非常勤職員に門戸を広げるため、保育士は49才、調理師は55才までと採用年齢を引き上げたことは、長年頑張ってきた方にはとって、励みとなる。ただ、その採用基準は明確でない。勤務評定に基づく基準を設けるべき。個人情報を守りつつ職員採用の結果をオープンにすることが、いろんな噂を解消できる唯一の方法だ。

町長 受験された方には、求めに応じて結果を見せている。今も公平性を保ちながらやっている。ご提案については検討していくが、今年度はこのままやらせてもらいたい。

問 住宅耐震化率90%を目指して

答 町独自の支援も検討

問 何年先に起こるか分からない地震の備えは、今までと同じことをやっているとダメ。とな

建設課長 県建築士事務所との協力を得て、個別訪問や相談会などを実施し、減税措置、安くできる改修方法などを提供する。町独自の支援制度の検討も行う。アパートは、今のところ対象外。



検討会では「SYOJI N」の今後の展開を考えている。これまで、えい坊くんと禅の文字も商標登録し、町民の皆さんに自由に活用願う取り組みを行っている。

問 九頭竜川をどのようにつ誘客に結び付けるのか。

商工観光課長 まず、大燈籠流しに今年は多くの外国人を含め、2万7千人の来場者があった。先日開催された親子アユ釣り教室にも多くの子ども達に参加していたようだ。また、川を、サクラマス、アユの釣り場として生かす取り組みも行っていく。今後も釣り大会をはじめとするイベントを行っていく。

【その他の質問】
「道の駅「禅の里」や中国人観光客の誘客について」

答えてみよう! 町議会クイズ

- Q1** 平成29年4月に開設の魅力発信交流施設の名称は何と言いますか。
ヒントは… P6・7
- Q2** コミュニティバスの松岡コースは、1日何便運行されていますか。
ヒントは… P8・9
- Q3** 防災士の資格取得は何歳からですか。
ヒントは… P10・11
- Q4** 町内の参議院選挙における18歳・19歳の投票率は何%でしたか。
ヒントは… P12・13
- Q5** 住宅の耐震診断改修工事の補助額はいくらですか。
ヒントは… P14・15
- Q6** 平成29年度の職員募集人数は何人ですか。
ヒントは… P16・17

〈回答はP18下段にあります〉

傍聴にお越しく下さい 12月定例会 生中継

- 11月25日(金) 10時～ [本会議]
- 12月 5日(月) 6日(火) 7日(水) 10時～ [一般質問]
- 12月 8日(木) 9時～ [予算決算常任委員会]
- 12月14日(水) 10時～ [予備日]15日(木) [本会議]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。 ★エレベーター完備

お詫びと訂正
議会だより43号8Pにおいて、掲載事項に誤りがございましたので、下記内容に訂正させていただきます。この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

訂正内容 (誤) 若狭町 定数 14 → (正) 若狭町 定数 16

議会・各委員会の議員出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 一…員外 傍…傍聴 吊…吊事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直栄	樂間薫	川崎直文	伊藤博夫	奥野正司	中村勲太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	齋藤則男	
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数																			
	会議回数																			
	出席率																			

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2016年10月28日(金)~11月1日(火)

時	10月28日(金)	10月29日(土)	10月30日(日)	10月31日(月)	11月1日(火)	時
8	00 開会	00 一般質問(3日目①) 樂間薫議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目③) 中村勲太郎議員 多田憲治議員	00 本会議 51 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 上田誠議員	8
9			21 文字告知放送		39 文字告知放送	9
10	06 文字告知放送	22 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 川崎直文議員 江守勲議員		00 一般質問(2日目③) 奥野正司議員 金元直栄議員	10
11	00 一般質問(1日目①) 川治孝行議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会①	43 文字告知放送		52 文字告知放送	11
12	47 文字告知放送	26 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 上田誠議員	00 開会	00 一般質問(3日目①) 樂間薫議員 滝波登喜男議員	12
13	00 一般質問(1日目②) 長岡千恵子議員 小畑傳議員 朝井征一郎議員	00 予算決算常任委員会②	39 文字告知放送			13
14	58 文字告知放送	45 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 奥野正司議員 金元直栄議員	06 文字告知放送	22 文字告知放送	14
15	00 一般質問(1日目③) 中村勲太郎議員 多田憲治議員	00 本会議 51 文字告知放送	52 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 川治孝行議員 上坂久則議員	00 予算決算常任委員会①	15
16	21 文字告知放送		00 一般質問(3日目①) 樂間薫議員 滝波登喜男議員	47 文字告知放送	26 文字告知放送	16
17	00 一般質問(2日目①) 川崎直文議員 江守勲議員	00 開会		00 一般質問(1日目②) 長岡千恵子議員 小畑傳議員 朝井征一郎議員	00 予算決算常任委員会②	17
18	43 文字告知放送		22 文字告知放送	58 文字告知放送	45 文字告知放送	18
19	00 一般質問(2日目②) 伊藤博夫議員 上田誠議員	06 文字告知放送	00 予算決算常任委員会①	00 一般質問(1日目③) 中村勲太郎議員 多田憲治議員	00 本会議 51 文字告知放送	19
20	39 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 川治孝行議員 上坂久則議員	26 文字告知放送	21 文字告知放送		20
21	00 一般質問(2日目③) 奥野正司議員 金元直栄議員	47 文字告知放送	00 予算決算常任委員会②	00 一般質問(2日目①) 川崎直文議員 江守勲議員		21
22	52 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 長岡千恵子議員 小畑傳議員 朝井征一郎議員	45 文字告知放送	43 文字告知放送		22
23		58 文字告知放送				23

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

7/5 京都府与謝野町議会 来町



京都府与謝野町議会 総務文教厚生常任委員会の委員ら9名が「行財政改革大綱実施計画の進捗審査」「事務事業評価」の取り組みについての視察のため来町しました。

8/8 正副委員長研修会



福井県町村議会議長会主催の正副委員長研修会が行われ、全国町村議会議長会議事調査部参与の横田 優氏を講師に、「委員会での議案等の審査」について講義を受けました。

8月上旬 帆書きボランティア



8月21日(日)に開催された「九頭竜フェスティバル2016・永平寺大燈籠ながし」のボランティア活動として、今年も供養燈籠の帆書きのお手伝いをさせていただきました。

17ページのクイズの答え ① えい坊館 ② 5便 ③ 中学3年生(15歳)から ④ 18歳…47.73%、19歳…36.53% ⑤ 80万円 ⑥ 14名

8/21 九頭竜フェスティバル2016

永平寺町の夏の風物詩「九頭竜フェスティバル2016・永平寺大燈籠ながし」が開催され、議員も出席。大本山永平寺の130人の僧侶による大施食法要が厳かに行われた後、願いや祈りが込められたたくさんの燈籠が流されていきました。



本議会以外にも
活動中!

9/16 決算審査現地視察

平成27年度決算認定の審議前に、予算決算常任委員会で、現地視察を行いました。



10/7 嶺北町村議会議員研修会 in 池田町

嶺北4町議会議員が一堂に会し研修会が開催され、本町からは10名が参加しました。福井県の課長を招き、福井県の人口減少対策としてU・Iターンの取り組みや、結婚応援政策などの取り組みについて勉強しました。その後「ツリーピクニックアドベンチャー いけだ」を視察しました。



「うらら」みんなの元気の源

東古市うらら会

東古市ふれあいセンターにおいて、毎月第4土曜日に地域ふれあいきいきサロンを実施している「東古市うらら会」でボランティア活動をしている皆さんからお話を伺いました。

平成15年4月、当時の民生委員の呼びかけで、地区内の75歳以上の高齢者30名とボランティア11人でサロンがスタートしました。ボランティアは多彩な顔ぶれで、今年で14年目を迎えました。新しいメンバーも加入し、現在では「サロンに行くのが楽しみや〜」と喜ばれております。

名前の由来は「うらら」の場所（方言で自分）、そして春ということもあって、住んでいる町や世の中が「うららか」であってほしいとの願いをかぶらせて、初回開催時に参加者全員で話し合って決めました。

活動内容は、毎回行う健康チェックに食事会、体操やゲーム、手芸、創作活動と様々です。

東古市の高齢者が元気で生きいきといつまでも住み慣れた地域で住んでいられるよう、生きがいづくりと健康予防を目的に活動をしています。



特に参加者から好評なのは、毎回行う血圧測定などの健康チェック。さらに、食生活改善推進員さんがいることもあり、毎回栄養のバランスを考えて提供している食事でも大変人気で、これを楽しみに参加されている方も大勢います。

当初は、中々「サロンって何？」と受け入れてもらえませんでした。現在では東古市の高齢者の方々にとって、生きがいづくり、健康予防、世代間交流、そして何より大切な「なかま」と楽しく過ごせる場所として、なくてはならないものになっているそうです。

最後に、サロンを支えてきた東古市うらら会のボランティアグループは、今年10月に開催される福井県社会福祉大会において、ボランティア功労賞を受賞することになりました。目標は大きく、次は20周年を目指して、これからも、ボランティアも参加者もひとつになって「うららのサロン」を楽しんでおられます。

(朝井 記)



編集者のひと言

季節の移ろいを感じられる霜降の頃に、第44号の議会だよりをお届けいたします。

町議会は改選後2年が過ぎ、7月末の臨時会で議会の組織替えを行い、議会広報特別委員会は7名で構成しました。

前号の「編集者のひと言」に「次回からは、新しいメンバーに引き継ぐ…。議会の情報発信を一人でも多くの町民の方に読んでいただき、取り組みを知ってもらえるような議会だよりを作り上げていくことを願っています。」とあります。しっかりと引き継ぎ、読んでいただける「議会だより」を目指します。今回の議会だよりでは「町議会クイズコーナー」を設け、より親しんでいただける「議会だより」としました。(川崎 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 小畑 勲
副委員長 江守 傳

朝井征一郎・楽間 薫
川崎直文・奥野 正司
長岡千恵子

発行責任者 齋藤 則男